

Unity Connection : SNMP モニタリングの設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[SNMP MIB ID](#)

[SNMP MIB](#)

[設定 CISCO-UNITY-MIB トラップ パラメータ](#)

[設定 CISCO-SYSLOG-MIB トラップ パラメータ](#)

[SNMP コンフィギュレーションチェックリスト](#)

[関連情報](#)

[概要](#)

この資料に簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) モニタリングの Cisco Unity Connection のための管理情報ベース (MIB) トラップ パラメータを設定する方法を記述されています。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

この文書に記載されている情報は基づいた on Cisco Unity Connection 7.x およびそれ以降です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

SNMP MIB ID

SNMP 割り当ては階層的に編成される情報収集である MIB にアクセスします。MIB はオブジェクト識別子によって識別される管理対象オブジェクトから成り立ちます。管理対象装置の特定の特性が含まれている MIB オブジェクトは 1 つ以上のオブジェクト インスタンス (変数) から成り立ちます。

SNMP MIB

SNMP インターフェイスは Cisco これらの標準 MIB を提供します:

- CISCO-CDP-MIB - MIB (CISCO-CDP-MIB) を Cisco Discovery Protocol (CDP) 読むために Cisco Unified Communications Manager CDP サブエージェントを使用して下さい。この MIB はネットワークの他の Cisco デバイスに彼ら自身をアドバタイズすることを Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection が可能にします。
- CISCO-SYSLOG-MIB - Syslog は情報直通重要からのすべてのシステムメッセージを、トラッキングし、記録します。この MIB を使うと、ネットワーク管理アプリケーションは SNMP トラップとして syslog メッセージを受け取ることができます。
- CISCO-UNITY-MIB - CISCO-UNITY-MIB は Cisco Unity Connection についての情報を得るために接続 SNMP エージェントを使用します。
- CISCO-CCM-MIB - SNMP 農業相談員はサーバに住み、サーバに知られているデバイスについての詳細な情報を提供する CISCO-CCM-MIB を露出します。クラスタ設定の場合には、SNMP 農業相談員はクラスタの各サーバに住みます。CISCO-CCM-MIB はサーバ (にクラスタをサポートする) デバイス登録ステータス、IP アドレス、説明およびモデルタイプのようなデバイス情報を設定のないクラスタ、提供します。

注: Cisco Unity Connection は CISCO-CCM-MIB を除いてこれらの MIB すべてをサポートします。

設定 CISCO-UNITY-MIB トラップ パラメータ

接続 SNMP エージェントは Cisco Unity Connection アラームによってトラップ通知を、しかしトラップことができます引き起こす有効にしません。アラームメッセージ定義画面の Cisco Unity Connection サービスability の Cisco Unity Connection アラーム定義を表示できます。

Alarm Message Definitions

Search Options
Find alarms where Equals* Enter Alarm Name

Search Results
No active query. Please enter your search criteria using

- indicates required item.

- Select Catalog Name --
- DBAlarmCatalog
- DRFAlarmsCatalog
- GenericAlarmCatalog
- JavaApplications
- EMAlarmCatalog
- LoginAlarmCatalog
- LpmTctCatalog
- RTMTAlarmCatalog
- SystemAccessCatalog
- TFTPAlarmCatalog
- TVSAlarmCatalog
- TestAlarmCatalog
- ServiceManagerAlarmCatalog
- ClusterManagerAlarmCatalog
- CertMonitorAlarmCatalog
- FIPModeChangeAlarmCatalog
- AEResponderAlarmCatalog
- CDPAlarmCatalog
- ViPRAlarmCatalog
- IMSAlarmCatalog

設定 CISCO-SYSLOG-MIB トラップパラメータ

システムの CISCO-SYSLOG-MIB トラップ設定を行うためにこれらのガイドラインを使用して下さい:

- 設定するために SNMP 集合操作を `clogsNotificationEnabled` 使用して下さい (1.3.6.1.4.1.9.9.41.1.1.2) 本当に。たとえば、Linux コマンド・ラインからの本当にこの OID を設定するためにネット `snmp` 一定ユーティリティを使用して下さい:

```
snmpset -c <community string> -v2c <transmitter ipaddress> 1.3.6.1.4.1.9.9.41.1.1.2.0 i 1
```

注: また SNMP 集合操作のための他のどの SNMP 管理 アプリケーションも使用できます。
- `clogMaxSeverity` (1.3.6.1.4.1.9.9.41.1.1.3) 値を設定するために SNMP 集合操作を使用して下さい。たとえば、Linux コマンド・ラインからのこの OID 値を設定するためにネット `snmp` 一定ユーティリティを使用して下さい:

```
snmpset -c public -v2c 1<transmitter ipaddress> 1.3.6.1.4.1.9.9.41.1.1.3.0 i <value>
```
- `<value>` 設定のための重大度数を入力して下さい。重大度値は重大度低下として増加します。1 という値は (緊急事態) 8 という最も高い重大度および値を (デバッグ) 示します最も低い重大度を示します。syslog エージェントは規定する値より大きいメッセージを無視します。たとえば、すべての syslog メッセージをトラップするために、8. という値を使用して下さい。

SNMP コンフィギュレーションチェックリスト

これは SNMP を設定するのに必要とされるステップの外観です:

- SNMP NMS をインストールし、設定して下さい。
- コントロール センター-ネットワークサービス ウィンドウは、システムが SNMP サービスを開始したことを確認します。
- 自動的に Unity Connection SNMP エージェント サービス アクティブ化。
- SNMP V1/V2c を使用している場合、コミュニティ スtring を設定して下さい。
- SNMP V3 を使用している場合、SNMP ユーザを設定して下さい。

6. トラップのための通知宛先を設定するか、または知らせます。
7. MIB2 システムグループのためのシステム接点および位置を設定して下さい。
8. CISCO-SYSLOG-MIB のトラップ設定を設定して下さい。
9. マスタ エージェント サービスを再開して下さい。

関連情報

- [SNMP](#)
- [CISCO-UNITY-MIB コンテンツ](#)
- [Cisco Unity Connection 8.x の SNMP のトラブルシューティング](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)